



17. 福祉の充実 (96) 福祉の奈良モデル構築

これまでは

- ・ 市町村・市町村社協、県・県社協が中心の体制でした。
- ・ 地域で困りごとのある人達とどのように接触し、関係機関・職種とどのように連携するかについて検討を深め、実践的な体制づくりを図ろうとしています。

もっと良くするために

奈良県地域福祉計画に基づき取組を進めます。

- ・ 住民相互の気づきや見守り
- ・ 第1次接触者CSWの活動支援
- ・ 市町村域の包括的な相談支援体制の充実

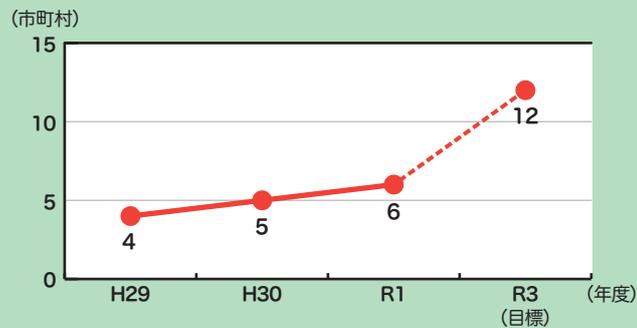
目指す姿

令和3年度までにコミュニティソーシャルワーカー配置市町村を12市町村にします。

市町村へのコミュニティソーシャルワーカーの配置支援等を進めていくことで、地域の生活課題の解決に向けた体制づくりを行うんだね。



コミュニティソーシャルワーカー配置市町村数



奈良県地域福祉課調べ

県はコーディネーターの役割を果たして、地域における取組を下支えします。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
コミュニティソーシャルワーカーの支援	コミュニティソーシャルワーカー実践研修の実施		
市町村地域福祉計画策定の推進	策定支援プログラムの実施		
地域の生活課題解決に向けた体制づくり	市町村におけるモデル的取組	優良事例の他地域への拡大	
	現場での活動支援		